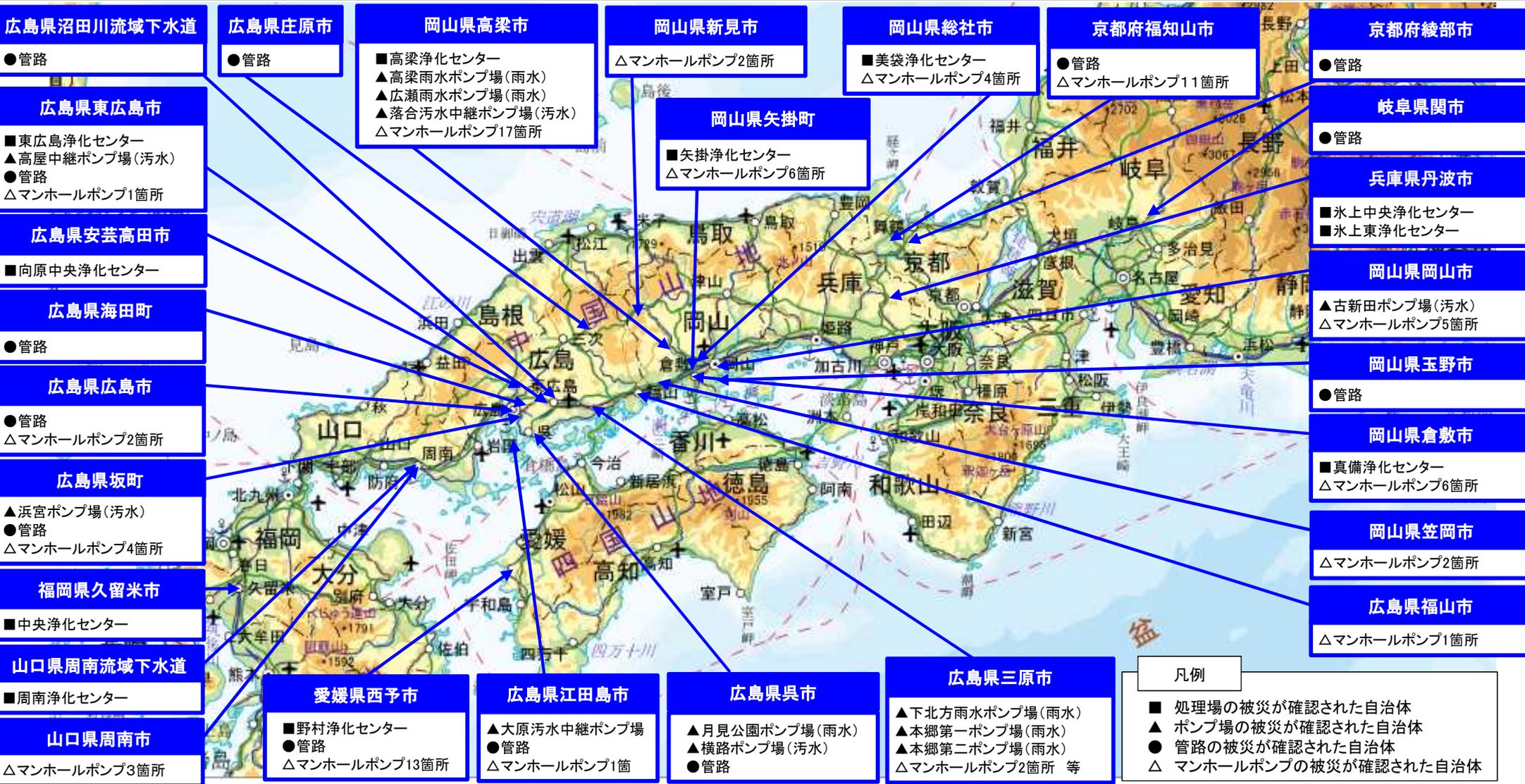


# 平成30年7月豪雨による下水道施設の被害状況

- 平成30年7月豪雨では、九州北部、四国、中国、近畿、中部の1府10県に大雨特別警報が発令されるなど、広域にわたり長時間の記録的な大雨となり、下水道施設では処理場やポンプ場が浸水して機能停止する被害や、土砂災害等による管渠の破断等の被害が発生。平成31年1月末時点の被災状況は以下のとおり。
- 処理場は岡山県倉敷市敷市の真備浄化センターなど計11箇所、ポンプ場は広島県三原市の下北方雨水ポンプ場など計12箇所で被災。
- 管路施設は広島市など13市町で約7.3kmで被災。マンホールポンプは岡山県高梁市など16市町で計80箇所で被災。





# 令和2年7月豪雨 下水道施設の被害と対応

令和2年10月末時点

- 【熊本県人吉市】 ○浸水(球磨川の氾濫)により下水処理場1箇所、汚水ポンプ場4箇所、雨水ポンプ場2箇所が機能停止。  
○下水処理場は、日本下水道事業団の支援を受け、10月14日より全量の生物処理を開始。  
○汚水ポンプ場は、4箇所すべてでポンプ機能を回復し、汚水を処理場に集める機能を回復済み。  
○雨水ポンプ場は、仮設ポンプの設置によって、既設と同等の能力まで回復済み。
- 【福岡県大牟田市】 ○浸水(内水)により雨水ポンプ場1箇所が機能停止。  
○国交省の排水ポンプ車(最大7台)より、7月9日までに排水作業を完了し、12日までにポンプ機能をすべて回復済み。

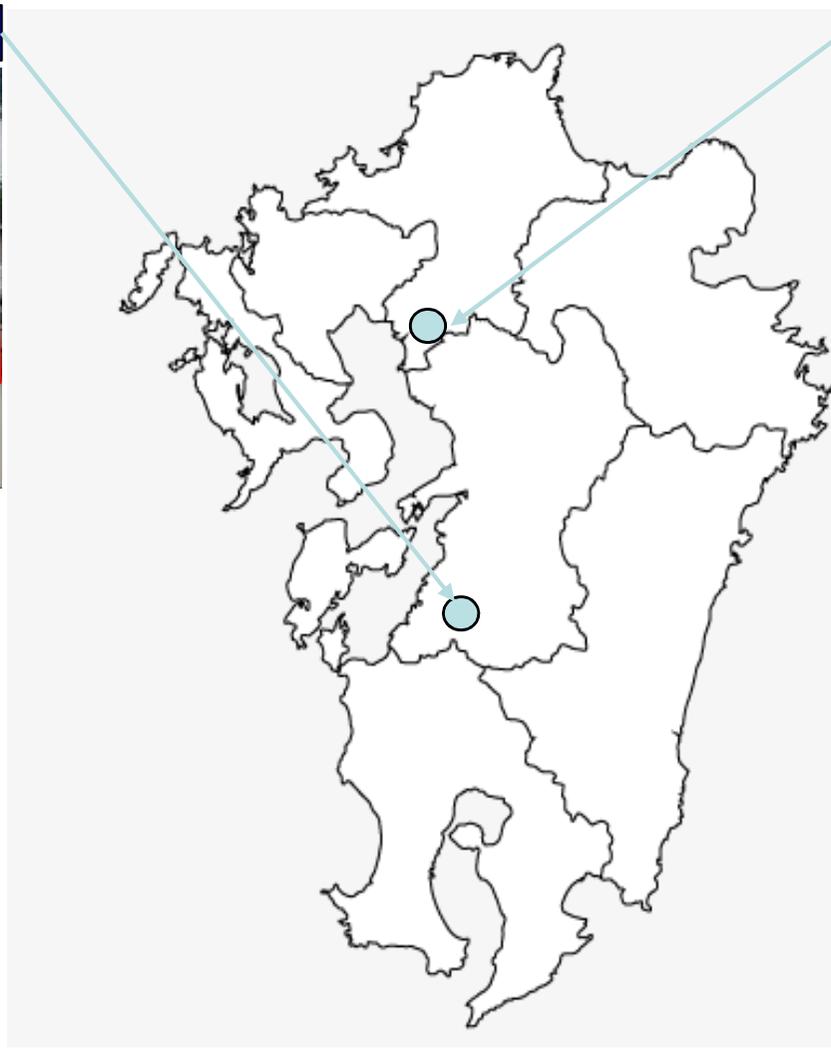
熊本県 人吉市



浸水した下水処理場



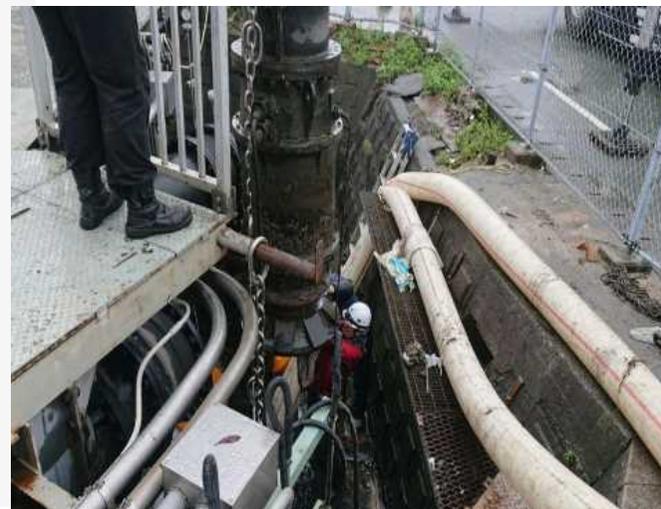
通常レベルの運転を開始  
(10/14~)



福岡県大牟田市



浸水した雨水ポンプ場



復旧作業状況